



猛暑が始まりました

7月に入ったばかりですが、猛暑日が始まりました。学校でも水分補給やエアコン・扇風機の使用等で対策をしていきますが、ご家庭でも、日傘やネッククーラーを活用いただく等、登下校時の対策をご確認ください。今月号では、本校の重点取組である「知」の取組の進捗状況を報告します。

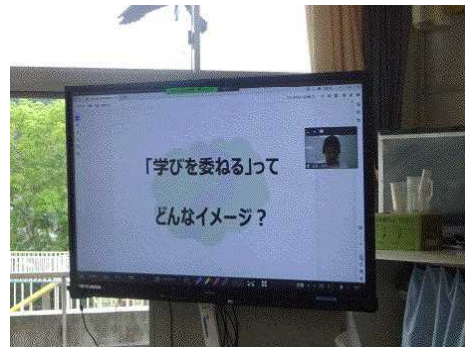
【知の取組： 主体的に学び、課題を解決する児童の育成 ～学びを委ねる授業の実践を通じて～】

①従来の授業のスタイルについて

日本では、大勢の児童の集団に向けて、教師が一人で授業をする、いわゆる「一斉授業」のスタイルが長らく続いてきました。しかしながら、児童の学力格差は大きく、多くの場合、中間層にあわせて授業をすることになります。そうすると学力上位の子どもには退屈な授業、学力下位の児童には難しい授業となってしまう、学力が定着しないばかりか、勉強嫌いを増やしてしまう原因となっていました。一斉授業の限界が昨今言われ出しています。

②一斉授業から、学びを委ねる授業スタイルへの転換

今年度、本校では、「学びを委ねる」をキーワードに、教え込むスタイルからの転換に挑戦しています。例えば、教師の解説は最初の10分だけ、残りの時間は自分のペースで学習を進められ、どの子どももどんどん学んでいけるイメージです。子どもが楽しみながら、自分の学びを自分で決定できる、そのような姿を目指し、「学びを委ねる授業実践」への取組を開始しました。



【岡山教育事務所主催のオンライン研修会に参加し、学ぶ教員】

③校内研究の実施状況

7月3日は、5年生クラスで研究授業を行いました。教師の「今から15分間は**マイタイム**（自分の好きな方法で課題解決を進めていい時間）です」の掛け声で、子どもたちは、各々のやり方（一人で学ぶ、友だちと相談する等）で、調べ学習を開始しました。教師が手応えを感じるまでには、まだまだ積み重ねが必要ですが、この「マイタイム」、子どもたちのお気に入りの授業時間になりつつあります。5年生の事後アンケートでは、「マイタイムは課題解決のための大切な時間になりましたか」に100%の児童が「とてもなった」と回答しています。引き続き、校内研究を進めて主体的な学びに繋げていきたいと思っております。

